名誉会員　中澤喜三郎博士を偲ぶ

中田 育男

本会名誉会員／筑波大学名誉教授

日本のコンピュータの創世記から発展期を通じ，長年にわたって高性能あるいは超高性能コンピュータを開発され，日本のコンピュータ産業を先導されてきた中澤さんは，2013年1月21日に特発性間質性肺炎で入院され，その4日後の25日に薬石効なくご逝去されました．享年80歳でした．正月に中澤さんからいただいたばかりの年賀状には「小生もやっと80歳の節目を越え，いささか年相応の老いを感じ始めています.」とはありましたが，「5020会は楽しみです.」ともあり，毎年5月20日のその会でHITAC 5020を開発した仲間と談笑されるお元気な姿を，今年もまた拝見できると思っていたのですが，突然の訃報で声を失いました．



中澤さんは1955年に東京大学工学部応用物理学科を卒業され，同大学の大学院生の時に村田健郎さんと一緒に，1951年から開発が始められていてまだ動かなかったTAC（Tokyo Automatic Computer）を再設計して，1959年にそれを稼働させました．

1960年には，村田さんと一緒に日立製作所に入社され，新しいコンピュータとして，HITAC 5020の設計を始められました．その試作がかなり進んだ頃，東大に全国大学共同利用の大型計算機センターを設置することになり，実績のある米国のコンピュータとの激烈な受注合戦になりましたが，日本のコンピュータ産業を潰してはならないという先生方の応援もあって，HITAC 5020を（より高性能なHITAC 5020Eに後で置き換えるという条件で）受注しました．中澤さんたちはそれらを見事に完成させ，国産のコンピュータが世界に伍していけることを示しました．実は私も同じ1960年に日立製作所に入社しており，HITAC 5020という新しいアーキテクチャのコンピュータのコンパイラを開発することができて，それが私の大きな財産となりました．

中澤さんはその後も日立製作所で，数多くの超大型汎用コンピュータや，スーパーコンピュータの開発プロジェクトの主たる責任者として，常に世界最高速レベルのコンピュータを世に出してこられました（その主なるものを次ページの御略歴の中に記します）．

1989年には筑波大学へ移られ，先に移っていた私はまた同じ職場になりました．1992年には筑波大の物理の先生方の発想でCP-PACSプロジェクトが始まり，中澤さんがその超並列計算機の開発製作の責任者となられ，私も中澤さんにお願いして，そのプロジェクトに参加させていただきました．その製作担当の日立製作所の方々との延べ数百時間に及ぶ打ち合わせでは，中澤さんが毎回示される，より優れたものを実現したいという強烈な意思とそれを支える豊かな見識に圧倒されました．そして，1996年にはLINPACKベンチマークで368.2ギガFLOPSという世界一の性能を達成しました．

1995年には，それまでのコンピュータ開発のご経験の集大成とも言うべき著書「計算機アーキテクチャと構成方式」を刊行されました．これは，本会誌で数年続いた「20世紀の名著名論」シリーズの中で，唯一日本人による著書として取り上げられました．また，1996年度の大川出版賞も受賞されました．不朽の名著として今後も学び継がれていくものと思います．

私は，中澤さんの開発された新しいアーキテクチャのコンピュータに2回もソフトウェア屋として関係することができて幸せでした．長い間，本当にありがとうございました．心からご冥福をお祈りいたします．

（2013年2月12日）

御　略　歴

1932 年 10 月 2 日	東京に生まれる
1955 年　3 月	東京大学工学部応用物理学科卒業
1959 年　2 月	TAC（Tokyo Automatic Computer）稼働
1960 年　3 月	東京大学大学院数物系研究科応用物理学専攻博士課程修了
	工学博士（学位論文「TAC 演算器の製作研究」）
1960 年　4 月	日立製作所入社
1965 年	HITAC 5020 出荷
1970 年　8 月	日立製作所中央研究所第 7 部長
1972 年　7 月	日立製作所神奈川工場超大型部長
1972 年　8 月	超高性能電子計算機開発の国家プロジェクトマシン完成.
	その改良版 HITAC 8800 を商品化
1977 年　2 月	日立製作所神奈川工場開発部長
1980 年　1 月	HITAC M-200H/280H 出荷
1980 年　2 月	日立製作所神奈川工場長
1983 年 10 月	スーパーコンピュータ HITAC S-810 出荷．最大 630 メガ FLOPS
1989 年　2 月	筑波大学電子・情報工学系教授
1992 年	「専用並列計算機による「場の物理」の研究」（CP-PACS プロジェクト）開始.
	超並列計算機 CP-PACS の開発製作の責任者
1996 年　4 月	電気通信大学情報工学科教授
1996 年 11 月	「世界のスーパーコンピュータトップ 500」リストで CP-PACS（368.2 ギガ FLOPS）が第 1 位
1998 年　4 月	明星大学情報学部教授（2002 年 3 月 定年退任）
2006 年　3 月	最先端･高性能汎用スーパーコンピュータの開発利用プロジェクトアドバイザリーボード委員
2013 年　1 月 25 日	逝去（80 歳）

1962 年　5 月	情報処理学会入会
1972 年　5 月～ 1974 年 5 月	情報処理学会理事
1997 年　5 月	情報処理学会功績賞
1999 年　5 月	情報処理学会名誉会員

受賞・栄誉

1996 年	大川出版賞　著書「計算機アーキテクチャと構成方式」（朝倉書店，1995 年）